

## 平成23年度 単位研究会事業計画

### 【京都市立学校事務研究会】

平成22年3月に「学校事務職員の役割と標準職務」が制定され、その背景には「学校経営における学校事務職員の役割の重要性や職務に関する明確な定めと校内体制を確立させ教師の事務負担軽減などを図ること。」目的には「学校事務職員の役割を校務運営組織に適切に位置づけ経営に積極的に参画させることにより職の確立を図り、学校経営における学校事務の重要性を認識させ学校教育活動が円滑に機能するように努める。」と通知されました。

今年度から導入された校内予算管理システムや、来年度運用開始予定の預り金システムとの連携など学校事務職員の果たす役割が重要となるなか、学校事務支援推進プロジェクトが設置され、その活動にも注目していきたい。この間、研究会は様々な情勢の変化に対応しながら活動を展開してきたが「事務職員が過重な負担を背負い込まないような学校体制」を構築していかなければならない。また、研究会活動もその一部にならないよう組織改正も必要となってきた。

私たち事務職員は子どもを中心に、教師が創造性をもった教育ビジョンを発想できる環境づくりに一翼を担い学校経営へ積極的に参画し学校経営ビジョンの実現に向け子ども・教員以上に「わくわく、そして、どきどき」するような事務職員でありたい。今後も研究会活動を軸として多様な変化に対応し学校間の連携を通して事務職員自らが学校経営に積極的に関わる取組実践を推進していく。

#### 1 研究方針

- (1) 学校経営に主体的に参画する事務職員を目指す研究
- (2) 「学校事務職員の役割と職務標準」の研究
- (3) 学校組織のシステム化・学校事務の効率化を図る
- (4) 学校事務の実践に向けた取組の充実と情報ネットワークの構築



### 【神戸市立小中学校事務職員研究会】

神戸市立小中学校事務職員研究会は、「神戸市立小学校事務研究会」と「神戸市立中学校事務職員会」で構成されており、日常の活動は個々に行っています。

神戸市立小学校事務研究会は、今年度も研究会活動の基盤である区会活動の活性化を図り、区会活動で得られた多くの成果を共有し、学校事務の適正化と効率化を目指すとともに、各学校での実践に活かす学校事務力の向上を図るための研修を企画します。また、学校事務のICT化を推進し、学校事務の効率化・適正化・安定化を目指します。

2月24日（金）には、神戸市総合教育センターで研究大会を開催し、研究委員会による研究発表と討議を行います。

(小学校ホームページ)

<http://www2.kobe-c.ed.jp/jimu-es/>



神戸市立中学校事務職員会は、「学校事務の円滑なる運営を期し、神戸市中学校教育の推進に寄与する」ことを目的とし、82名の会員と約30名の準会員で活動します。毎年5月下旬に定期総会を行い、活動報告・計画・役員改選・会計の収支決算及び予算に関する事項等を決議し、企画委員会・役員会は、毎月1回本会活動の企画・運営について審議しています。全会員の活動としての9行政区ごとの区会では、当面の課題解決及び情報交換を行います。組織は庶務部・研修部・研究部からなり、庶務部は会全体の会務の他、毎月の事務職員だより、また年に一度の機関紙「明星」の発行も行っています。研究推進部は対外研究活動の広報を行い、また過去の成果物の見直しも行います。研修部は昨年に引き続き若年者研修を行います。今年度のテーマは「公費・準公費予算委員会」です。若い世代からの財務担当者としてのスキルの向上を目指しています。

(中学校ホームページ)

<http://www2.kobe-c.ed.jp/jimu-ms/>

## 【滋賀県公立小中学校事務研究協議会】

### 1 滋事研研究大会について

(1) 第40回研究大会(湖東ブロック主管)は湖東ブロックが主管し、大会テーマ「創造しよう!教育を活かす学校事務を」のもと、平成23年12月9日

(金)滋賀県立男女共同参画センターにおいて開催します。

内容は決定次第、滋事研Webに掲載します。

「滋事研のWebは

<http://www.ex.biwa.ne.jp/~shijiken/>」

### 2 学校事務共同実施特別委員会の活動について

昨年度、設置した特別委員会では、県内における共同実施の推進のための調査・研究を行っています。概要について、第40回研究大会で報告を行う予定です。

### 3 専門部・事務局活動について

#### (1) 研究部

研究部では、昨年度に引き続き、「連携」をキーワードに研究を進めていきます。

学校経営への参画をより高めるための学校間連携・地域連携業務へと学校事務の機能を展開していくには、事務職員としてどのようなことをするべきかを部員の経験年数に応じた実践を通して探っていきます。

研究テーマ

「新しい学校事務の機能を探る～事務職員から提案する学校間連携・地域連携とは～」

#### (2) 研修部

学校事務職員の資質向上をめざした研修講座を実施します。(ポスターセッションおよび危機管理)

初任者研修は、初任者向けに小冊子「学校事務の仕事」を作成し、年度当初に初任者に配付するとともに、年間3回の初任者研修を実施します。

#### (3) 広報部

広報紙「さざ波」を年間2回発行し、滋事研のWebを定期的に更新していきます。

また、会員専用のページを設けて、より実用的な情報提供や「さざ波」なども掲載していく予定です。

#### (4) 事務局

事務局では、滋事研webに掲載している「学校事務ハンドブック」の更新作業に取り組み、また、旧学校事務マニュアル「学校生活に関わること」編についても、学校事務ハンドブックの一項目として掲載していきます。



## 【大阪府公立学校事務研究会】

### 1 基本研究

(1) 学校に対する社会の要求が多様・複雑化する中、学校の教育力の向上のため、自主的・自律的な学校運営を行うことが求められており、地域連携・学校評価・学校裁量予算の管理などの教育指導以外の業務が増加し、重要度も増してきています。このような状況に的確に対応しつつ、教員が子どもと向き合う時間を確保しながら学校業務を適切に遂行するための学校経営組織が必要となっており、その組織の中での学校事務職員の役割は重要となっています。これまで本会で研究を重ねてきた「学校事務の組織化」の研究成果を加味しながら、「より良い学校経営組織・学校事務職員のあるべき姿」について「共同実施の活性化」「共同実施のメリット」などをキーワードに、研究を進めていきます。

(2) 大阪の学校事務職員全体の世代交代が進んでいます。若い世代の人たちの日々の悩み、素朴な疑問の中にこそ新たに重要な研究課題があるのではないかと考えます。フレッシュな視点を活かした研究活動を進めていきます。

### 2 研修について

会員の資質向上及び学校教育の発展に寄与するための人材育成を目的に、さまざまな形態での研修を企画します。また学校事務の確立の観点から、あるべき体系的研修制度の研究を行います。

### 3 設立20年を迎えるにあたっての組織の見直し

2012年(平成24年)に本会は設立20年を迎えます。20年間の活動を振り返り、研究会組織運営のあり方についての検討を行います。

### 4 研究大会の開催

第20回大阪府公立学校事務研究大会を開催します。近畿各地からの多数の参加をお待ちします。

(1) 開催日 平成23年11月2日(水)

(2) 会場 エルおおさか(大阪府立労働センター)

(3) 内容

①記念講演 兵庫教育大学大学院  
日渡 円 教授

②行政説明 大阪府教育委員会

③専門部局活動報告

④分科会

貝塚市教育振興会学校事務研究部  
研究報告



# 【奈良県公立小中学校事務研究会】

## 研究主題

### 「これからの学校経営を担う学校事務の探求」

私たち事務職員は、子どもたちの豊かな育ちを支援するために、「情報力」・「分析力」・「企画力」を身につけ学校全体を見渡し、外部と連携し、質の高い教育を実現すること、すなわち「学校事務の総合マネジメントができる事務職員」を目指さなければならないと考えています。

そこで、今年度は研究主題に迫るため、次の3点を具体的目標と定め、県事研の様々な事業を計画実施しています。

- 1 事務部組織の確立（学校の中での組織化）
- 2 学校間連携の推進（学校事務力の向上）
- 3 情報のマネジメント（信頼関係の構築）

## 今年度の重点課題



特に奈良県では昨年度より、グループワーキング（奈良県版共同実施）の試行が導入されたことを受け、**2. 学校間連携の推進**を重点課題としています。G・W(グループワーキング)は、先輩から後輩への経験の共有・サービスの均一化・お互いの得意分野をうまく活用するなど、学校事務力向上のキーポイントとなると考えています。

活動の柱としては、支部活動の充実と交流・専門部活動の充実を活動の柱とし、2回の研修会、研究大会、新規採用事務職員フォローアップ、校長会・教頭会・事務研究会合同会議等を計画しています。

また来年度は、第11回近畿地区公立小中学校事務研究大会奈良大会と奈良県公立小中学校事務研究大会40周年記念大会が同心円開催となりますので、分科会担当も含め、大会の成功に向けて取り組んでいます。

## 第11回近畿地区公立小中学校事務研究大会（奈良大会）

### 開催要項

- 日時 平成24年(2012年)8月23日(木)  
9:15~17:00
- 場所 奈良県文化会館（奈良市登大路町6-2）  
近鉄奈良駅より徒歩 約5分  
JR奈良駅より奈良交通バス乗車  
「県庁前」バス停下車徒歩 約2分

### 大会テーマ

うるわしの国、<sup>やまと</sup>倭からつなげる学校事務

～未来を生きる子どもたちのために～

### 目的

子どもたちの豊かな育ちを支援する学校事務の役割を再認識し、よりよい教育の推進に貢献できるよう資質の向上を図る

- 内容 午前の部 開会行事  
文部科学省行政説明  
近事研調査研究部報告
- 午後の部 分科会  
(奈良県・滋賀県担当)

まだ来年！？ もう来年！？ 20周年記念大会の後、滋賀からバトンを受けとって、奈良の地で「第11回近畿地区公立小中学校事務研究大会」が行われます。研究大会に向けて動き出す中で、『近畿はひとつ』の言葉を実感する日々です。私たちにそして今の日本にも必要な、力を合わせることのすばらしさが伝わる大会にしたいと思います。

平城遷都1300年祭の余韻の残る奈良は、ますます魅力的です。

うるわしの国、<sup>やまと</sup>倭にて皆様のご参加をお待ちしています。



### ＝研究大会実行委員変更のお知らせ＝

- 実行委員長 西畑ひろみ → 小谷英美(奈良)
- 受付・接待係 田辺照夫 → 笹原孝志(京都)

## 近事研サマーフォーラム報告

平成23年8月19日、京都タワーホテルにおいて、近事研サマーフォーラムを開催しました。講師には、京都教育大学大学院 連合教職実践研究科教授の竺沙知章様をお招きし、「特色ある学校づくりを促進する学校財務のあり方」という演題でご講演いただきました。当日は200人の方々の参加を得ました。

まず、「学校は自主性・自律性を確立し、自らの判断で特色ある学校づくりに取り組むことができる」と示された1998年の中教審答申からの制度改革の流れを振り返りつつ、「今、学校に何が求められているか」について、ご説明いただきました。「これからは、決められたことを淡々とこなすだけではなく、各々異なった子どもや地域の実態を考慮し、学校として何を指すかを明確に打ち出し、それに向かって前向きにチャレンジしていかなければならない」と話されました。

新学習指導要領では、教育課程編成・実施に関して各学校の責任と現場主義が重視され、教育内容においては、言語活動の充実を図り、社会変化への対応力をつけることが求められるようになりました。また、学級編制や教職員配置の仕組みも、より柔軟なものに法律改正されました。そのように学校裁量権が拡大されることで、学校における創意工夫、教育計画策定から実施、評価にいたるまでが、より重要視されるようになりました。

学校全体で十分に議論を尽くした上で、学校目標（目指すもの）を定め、それにながった教育課程を編成し、効果的に予算措置を行う。そこで必要となるのが「組織マネジメント」と「財務マネジメント」です。

私たち学校事務職員にとっての組織マネジメントとは、学校目標実現のためにリーダーシップを発揮するこ



### 「特色ある学校づくりを促進する 学校財務のあり方」

京都教育大学大学院  
連合教職実践研究科 教授  
竺沙 知章 様



とであり、それは、学校全体を外から見る立場にある者として、状況を的確に把握・分析しながら職員を動きやすくすることです。そして、リーダーシップのスタイルも、ビジョンによるもの、環境整備によるもの、コミュニケーションによるものがありますが、それらを状況に応じて変えたり、うまく使い分けたりする必要があります。

学校財務マネジメントでは、予算が教育課程とつながっているか、費用対効果はどうか、外部に説明できるかなどが問われます。また、その進め方としては、教委との連携・共同実施等の組織体制づくり、業務改善、PDCA サイクルの工夫、教育課程と予算編成の一本化があります。「個別に予算要求するのではなく、何に力を入れるのかを定め、学校全体の事業としての予算編成をしなければならない。そのためには、今までと違う発想が必要だ」と教えていただきました。

講演を通じて、学校は地域の将来を担う人材を育成する場なのだと再認識しました。そして、組織・財務マネジメント力を高めなければと痛感しました。地域に根ざした学校としての「特色ある学校づくり」を目指して、学校目標を確認し、教育課程についての議論を深められるように備え、効果的な予算編成、執行に努めたいと思いました。

<文責 角石秋子>

